

発 言 通 告 書

令和5年9月6日

松山市議会議長 渡部克彦 殿

松山市議会議員 池田美恵

次のとおり通告します。

発言順位	3	受領日時	9月 6日 午後 5時 10分	1 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 60 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	誰一人取り残さず、抜け落ちることのない子ども支援について	(1) 虫歯の治療ができていないような状況にある子は、行政からどのような支援を受けることができるのか。 (2) 結果的に行政からの支援がなく、歯の治療ができなかった理由として考えられる事情を問う。 (3) 保護者が行政に相談したり、支援を求めたりしない場合、どのように子どもの状況を改善していくのか。
2	スクールソーシャルワーカーについて	(1) 本市においても、かつて試験的にスクールソーシャルワーカーを配置していたと聞いているが、その時の事業概要と実績を問う。 (2) 試験的導入から本格的な導入に至らなかった事情を問う。 (3) 現在は、スクールソーシャルワーカーの役割を誰がどのように行っており、どのような実績を挙げているのか。 (4) スクールソーシャルワーカーが配置されていない理由を問う。 (5) 今後、スクールソーシャルワーカーを配置することについて、市長と教育長の率直な気持ちを問う。
3	産後ケア事業について	(1) 産後ケア事業を利用する手続を、やさしく親切な方法に改善することについて (2) 妊婦健診のように、誰もが利用できるというイメージを持ってもらうようにしてはどうかと思うが、所見を問う。 (3) 今年度、産後ケア事業の取組を、具体的にどのように改善する予定なのか問う。
4	効率的・効果的な市政経営について	(1) 行政評価はどのように行っているのか。 また、行政評価の結果をどのように活用しているのか。 (2) 予算編成の透明化や公開について、どのように取組を進めるのか。